

目黒稲門会会報



(題字：眞仁田 勉 初代会長)

第76号 2017年9月

発行人：吉田 博行 編集長：田島 順一郎 事務局長：安藤 孝

事務局：〒152-0002 目黒区目黒本町6-4-16 Tel 03-3716-7477

第18回定時総会を開催

2017年7月9日(日)、ホテル雅叙園東京で第18回定時総会が開催されました。

当日は早稲田大学から佐藤正志理事および北野寧彦地域コーディネーターにご出席頂きました。出席者総数85名。



佐藤理事



北野コーディネーター

午後4時、石川智子幹事の司会により開会、早稲田大学の来賓2名を紹介。次いで吉田会長より挨拶がありました(別掲参照)。総会の議長に小杉哲幹事が選出され、(1)28年度事業報告、(2)28年度決算報告、(3)監査報告が報告され満場異議なく承認されました。続けて、(4)29年度事業計画(案)、(5)29年度予算(案)が提案され、異議なく一括承認され、最後に(6)29年度役員構成(案)が示され、承認されました。



議事終了後、吉田会長の挨拶、続いて来賓の佐藤正志理事より挨拶がありました。佐藤理事の挨拶を通じて、早稲田大学から、58年間親しまれた記念会堂に代わり、新たに早稲田のシンボルとなる「早稲田アリーナ」建設への寄付金に対する御礼を頂戴しました。

休憩をはさんで、来賓の北野寧彦地域コーディネ

ーターより挨拶があり、続いて吉野博明幹事の発声で乾杯、歓談となりました。

その後、新入会員の小岩一郎会員、山内宏会員が壇上にて紹介されました。



小岩会員



山内会員

招待現役学生2名の紹介では、小林優人さん(文2年)、早川みなみさん(政経1年)の2名が紹介され、早稲田祭の運営スタッフとして、はっぴを着て挨拶を行いました。



小林さん



早川さん

懇親会のアトラクションには、現役の早稲田大学口笛サークル「ことリップ」有志7名が登場、涼しげな音色が会場を魅了しました。





しばらくの歓談に続き、金井豊男副幹事長からボランティア部会として募金への一層の協力をお願いしました。

盛会の中、中西元樹幹事の指揮で校歌を斉唱。最後は狩野俊夫幹事の中締めでお開きとなりました。
(笠谷 記)

<吉田会長挨拶>



皆様、本日はお暑い中、第18回総会にご参加頂き、ありがとうございます。都議会選挙も終わり、いよいよ2020年のオリンピック・パラリンピックに関心が高まるのではないのでしょうか。戦後復興をアピールした1964年(昭和39年)のオリンピックに負けない盛り上がりをもって成功させたいものです。

本日は、ご両親の夢を背負い、何年か先に早大生を目指してもらいたい幼いお子さん達も参加しています。1歳児から90歳を超える大先輩まで、参加者の年齢差は「90」に近いのではないのでしょうか。願わくば、早稲田OBのアットホームな集まりの雰囲気、若い記憶の引き出しに納めておいて欲しいものです。このような年齢差のある稲門会は他に例がないと自慢できると存じます。

本会をさらに充実させるためにも会員の増加が必要です。事務局としても一層の努力を続けて参りますが、皆様の口コミが一番強力な武器と言えます。周りの先輩、後輩また、ご近所の校友に再度、再々度のご勧誘をお願いいたします。

会員各位の熱意により、部会活動の活性化、新規部会活動の構築、ボランティア活動、校友会および他地区稲門会との交流等、大過なく進めることができました。ひとえに会員の皆様とご家族のご理解、ご協力そして他稲門会や校友会のご指導の賜物と心より御礼申し上げます。

役員一同さらに知恵を絞り、より楽しい稲門会ライフを目指す所存です。暖かいご支持とご協力をお願いいたします。



総会出席者(敬称略、五十音順)

(来賓)

佐藤正志・早稲田大学理事

北野寧彦・早稲田大学地域コーディネーター
(現役学生)

小林優人・文学部2年

早川みなみ・政経学部1年

(アトラクション)

早稲田大学口笛サークル“ことりっ”7名
(会員・ご家族)

浅海敏之、荒瀬修一郎、安藤 孝、安藤虎雄、
安藤嘉昭、石川智子、市瀬一江、伊藤 悠、
猪名川一雄、井村正陽、井村令夫人、岩佐好恭、
岩崎春雄、岩崎正夫、岩田 修、大内秀明、
大久保健治、大杉邦雄、大竹一子、大野利幸、
奥村忠男、笠谷興一朗、梶 恵作、金井豊男、
狩野俊夫、川井信義、川崎真樹子、河村晋彦、
菊地崇之、小岩一郎、郡山弘文、郡山令夫人、
小杉 哲、後藤克彦、佐久間 喬、澁谷瑠璃、
嶋田勝彦、島田久家、高野 孝、高橋圭吾、
高橋真美子、田島順一郎、田添麻友、
堀合(田添)義統、堀合将統、橘 かがり、
田畑 繁、地田博昌、千野逸平、手塚仁雄、
中上美代子、永田耕治、中西春海、中西元樹、
中西葉祐、服部尚彦、林田雅敏、細谷 清、
堀井良造、丸山忠生、宮村直身、村上 柊、
村田信之、村山 弘、保井 正、山内 宏、
山口優幸、横山 大、吉田博行、吉田令夫人、
吉野博明、吉野令夫人、吉本政治、吉本令夫人
(74名)

各部会からの案内・報告

ウォーキング部会

暑い日が続いていますが、季候が良くなる頃に、又、楽しく歩きましょう。特に初参加、女性は大歓迎です。活動報告と今後の予定をお知らせします。

実施報告

5月例会 帝釈天と矢切の渡し

日時 5月16日(火) 参加12名

6月例会 武蔵野三十三観音めぐり第4回

日時 6月20日(火) 参加12名

7月例会 早大国際学生寮(雨天以降中断)

日時 7月18日(火) 参加11名

今後の予定(小雨決行)

8月例会 哲学堂から新井薬師(7月例会続き)

日時 8月30日(水) 午後1時

集合場所 西武池袋線江古田駅改札外

9月例会 国分寺崖線を歩く

日時 9月19日(火) 午後1時

集合場所 小田急線成城学園前駅北口

10月例会 三溪園

日時 10月17日(火) 午後1時

集合場所 東急東横線横浜駅南改札外

11月例会 田園調布から多摩川園

日時 11月21日(火) 午後1時

集合場所 東急東横線田園調布駅改札外

ウォーキング部会長 牧野武夫

(携帯)090-9649-6868

——希望のウォーキングコースに参加して——

市瀬一江 (昭和37年 教育)

第111回ウォーキング部会は、5月16日(火)かねてよりの私の希望で「車 寅次郎」に会える事になり、嬉しくて朝からそわそわしてしまいました。ファンですから……。13時に JR 常磐線金町駅に集合、柴又街道を約25分歩き京成金町線柴又駅に到着。最初に柴又駅で例のトランクを持ち、毛糸の腹巻きをした寅さんが妹の「さくらちゃん」と一緒に私達を迎えてくれました。



門前町と言うのでしょうか、帝釈天も入り口までは道の両側におみやげ店や食堂がびっしり並んでいて、寅さんの撮影にいつも使われた大きな老舗があり、名物の「草団子」が並んでいて、歩きながら食べている人も多く「食べたいなあ・・・」と思っていたのですが、女子は私一人しか参加していませんでしたのでどうしても言い出すことが出来ず、買って帰ってきて家で食べほっとしました。亭主も「おいしい」と言って食べていました。(念のため・・・)

さて目的の第一は帝釈天で江戸初期に開創された日蓮宗の寺院です。18世紀末に9代の日敬(につきょう)上人の頃より信仰を集め「柴又帝釈天」として広く知られるようになったとの事です。縁日は「庚申の日」とされ多くの参拝人が訪れているようです。近代以降も数々の文芸作品に登場し、20世紀後半以降は人気映画シリーズ「男はつらいよ」の主人公寅さんゆかりの寺として知られるようになり、今日では都内の定番観光スポットになっています。

先ず背の高い入り口の門をくぐると帝釈堂を中心とした立派な木造建築が並んでいて、天井とか通路の両側の彫刻は素晴らしいものでした。風雨から各々の彫刻を守る工夫がされていましたが経年劣化は避けられないように見えました。奥には大客殿と回廊式の日本庭園があり、池には錦鯉等も多く維持する努力が各所に見られました。

さて次なる目的地は、「連れて逃げてよ・・・ついておいでよ・・・」で知られる「矢切の渡し」です。江戸時代初期から続く、柴又と対岸の千葉県を結ぶ手漕ぎの渡し船。都内に唯一残る貴重な渡し場です。入り口には大理石の立派な歌碑があり、歌のヒットで有名になり、観光客が多くなったのでしょうか。江戸川の水は近くの金町浄水場に送られ都民の生活用水になっていて、東京湾につながっているため魚類も多いとの事です。東京側の河川敷は野球場、千葉県側はゴルフコースとなっていて、「矢切の渡し」の激しい恋の物語の風景は過去のものとなりつつあります。とにかく暑くもなく、寒くもなく、年を重ねた我々世代にとって大変楽しい旅でした。



食べ歩き部会

——横須賀軍港巡りと海軍カレー——

5月31日(水)10:30に京急の汐入駅に21名が集まりました。ここから徒歩5分の汐入ターミナルから出る横須賀軍港巡りの船に乗るためです。定刻の11:00に出港。100名以上乗れる大型船です。まず見えてきたのは海上自衛隊の潜水艦2隻。

他の艦艇の色は灰色でしたが、潜水艦は黒でした。甲板上で作業をしていた海上自衛官の方が手を振ってくれました。続いてアメリカ海軍のイージス艦2隻。空母のロナルド・レーガンは日本海へ出動中で見られませんでした。45分のクルーズで15隻の艦艇を見学しました。

ふたたび汐入駅へ戻り、横須賀中央駅まで一駅乗ります。駅前から三笠記念公園への循環バスに乗り、日本海海戦での連合艦隊の旗艦、戦艦三笠の艦内を見学しました。100年以上前の艦ですが、主砲はずいぶん大きく感じられました。日本海海戦についての展示が多数ありました。

横須賀中央駅の近くにある海軍カレーのお店へ行くべく、三笠記念公園のバス停で待ちますが、15分に1本のはずのバスが25分待っても来ません。運行している会社へ電話したら、なんと12:00から14:00まではお休みだと言います。それってお客様無視じゃないの?しかたなく歩きだしたら、「カレーライス」の旗を出しているお店がありました。21名入れば、貸し切り状態です。まずはビールで喉を潤し、何の変哲もないカレーライスを食べました。最後はハブニングがありましたが、楽しい半日を過ごしました。



食べ歩き部会長 猪名川一雄

若木会

6月10日(日)に参加者8名で野球殿堂博物館見学ツアーを開催しました。野球殿堂博物館は東京ドームの21番ゲート横にあります。当日は(公財)野球殿堂法人の筆谷敏正氏(文京稲門会)の熱のこもるご説明があり、野球の歴史を楽しく勉強しました。

若木会副部会長 笠谷興一郎

美術・歴史鑑賞部会

第65回は5月10日(水)丸の内にある三菱一号館美術館中庭に10時集合、参加者12名で『オルセーのナビ派展:美の預言者たち-ささやきとざわめき』を鑑賞。ポール・ゴーギャン「<黄色いキリスト>のある自画像」、モーリス・ドニ「鳩のいる屏風」、ピエール・ボナール「ブルジョワ家庭の午後」、フェリックス・ヴァロットン「自画像」、ポール・ランソン「水浴」等のオルセー美術館の代表する巨匠の作品を楽しみました。

昼食は美術館内にあるレストランで。

第66回は6月1日(木)に日本橋三越の隣にある三井記念美術館に10時に集合(参加者12名)で『奈良 西大寺展-叡尊と一門の名宝展』を鑑賞。

西大寺創建1250年の特別展で「国宝 興生菩薩像」、「愛染明王坐像」、「大黒天立像」や「忍性菩薩像」等の名宝を楽しみました。

昼食は豪華に日本橋「鰻 伊勢定」で。



第67回は9月6日(水)三菱一号館美術館で『レオナルド×ミケランジェロ展』を鑑賞予定です。

美術・歴史鑑賞部会長 後藤克彦

早稲田スポーツ観戦部会

4月29日(土・祝)第65回早慶アメリカンフットボール対校戦を18名で観戦しました。

早稲田は31-14で快勝しました。



5月28日(日)六大学野球春季リーグ戦早慶二回戦を18名で観戦しました。

前日の一回戦で早大が5-8で慶應に敗れたため早大の優勝がなくなりました。二回戦は、早大が負ければ慶應が優勝、勝てば立大が優勝となる試合でした。早大は五回に2点を奪われ逆転されましたが、5-6の七回二死満塁で代打・福岡が慶應3番手投手・高橋亮より左中間へ3点二塁打を放ち逆転し、さらに檜村の適時打で2点を加えました。早大はその後追加点を奪い12-6で勝利しました。

試合後の恒例の反省会(祝勝会)も母校の快勝で大変盛り上がりました。

早稲田スポーツ観戦部会長 狩野俊夫

俳句部会

第97回 萩句会報告

日時 2017年7月10日(月)14時～17時

(順不同)

川井素山	玻璃戸拭き薔薇の彩り引き寄する
保井寶正	墨堤の船にたばしる驟雨かな
青木英林	合歓の花媚葉の如き風情あり
後藤克彦	じゃがいもの花花花の十勝かな
佐久間喬	薙ぎ倒す青き匂いや草刈り機
丸山酔宵子	紺碧の空に雲あり山法師
菊地崇之	炎帝を惑わす衣透かし肌
佐久間たか子	大夕立駅なかカフェに長居せり
佐伯兵庫	凶みくじ夕陽に踊る夏柳
吉田啓悟	一陣の風に鷺草飛びたてる
山本草風	夕立きてすぎ去るまでの逢瀬かな
金森純女	後れ毛のいつしか濡れし夏の霧
渡辺鯨波	白雨来る島のはずれの流人墓地
澁谷瑠璃	夕立よ吾の虚飾を流し去れ
石川智子	水草に雨宿りして金魚かな
原 晶如	白南風や少年の手に砂鉄立つ
青葉ひかる	紫陽花の香り漂ふ乙女子よ

先月、今月と2名の新会員を迎えました。

初めての方歓迎です。俳句は鉛筆一本、手帳一冊あればできます。しかし俳句は奥が深く、十七音で表現し得たときの喜びは大きなものです。

今月の一句

夕立よ吾の虚飾を流し去れ

中原主宰の評

上五と下五の命令形が効いている。

吾の虚飾を流し去れは色々な思いを感じとることができる。

直すところのない句になっている。

俳句部会長 佐久間 喬

囲碁部会

第17回オール早稲田囲碁祭が6月3日(土)日本棋院市ヶ谷本院において182人の参加を得て盛大に開催された。

目黒は大久保健治六段、保井 正三段、鵜野洋治初段、小倉利允一級、菊地崇之二級、の5名で団体戦Dクラスに参戦した。初戦は東久留米・新宿・我孫子混成に4対1、2回戦は調布に3対2、3回戦は練馬Bに4対1、決勝戦は稲棋会に4対1で快勝した。10年振りの優勝でした。

第36回大学親善囲碁大会が7月16日(日)日本棋院市ヶ谷本院において東大、慶大、滋賀大、日大、東工大、埼玉大、神戸大、神奈川工科大、中央大、九大、青山大、東経大、明治大、東京都市大、電気通信大、東農工大、横国大、早稲田大の参加を得て開催された。

目黒はハンディ戦Eに早稲田Fとして、保井 正二段、梶 恵作三級にて参戦した。初戦は東大Dに3対2、2回戦は混成に2対3、3回戦は早大Gに4対1という結果でしたが得失点差で優勝した。

囲碁部会長 保井 正

カラオケ部会

カラオケ部会会長を拝命してからの最初のカラオケ部会は5月12日(金)に開催されましたが、参加人数は10名と少なく参加会費より会場経費の方が多く、繰越し金より借入致しました。6月9日(金)および7月14日(金)の例会には、それぞれ11人が参加致しました。参加人数が少ないと唄える曲数は少し多くはなりますが、やはり参加人数は多い方が望ましいと思います。一人でも多ければ唄われる曲にもバラエティーがあり参考になりますから。8月は休みで次回例会は9月8日(金)に開催の予定です。一人でも多くの参加を期待しております。

カラオケ部会長 奥村忠男

麻雀部会

1. 第67回麻雀大会は6月12日(月)16名参加のもと激戦を繰り広げました。優勝 鵜野氏、準優勝 鈴木氏、3位 郡山氏でした。
2. 第68回大会は8月14日(月)武蔵小山サンにて12時30分より開催。

麻雀部会長 鵜野洋治

さん月会

8月21日(月)開催部会より「やるき茶屋・自由が丘店」に変わりました。

さん月会部会長 安藤 孝

旅行部会

—— 小豆島温泉としまなみ海道の旅 ——

小杉 哲(昭和41年 理工)

旅行部会は小豆島温泉としまなみ海道の旅(1泊2日)をクラブツーリズムの企画を一部買い取る形で実施しました。(会員とその家族17名参加)

2017年6月16日(金)8時半に羽田空港に予定通り全員が集合した。今回の旅行は島巡りの旅(海路および橋路)だが、出発起点の高松空港から最終目的地の松山空港まで松山から来た同じ観光バスでまわった。高松空港から30分ほどで高松港に着き、フェリーで瀬戸内海を約1時間遊覧し小豆島の土庄(とのしょう)港に着いた。瀬戸内海だけあってまったく揺れなかった。

小豆島というオリブ、醤油および「二十四の瞳」を思い浮かべる人も多いが、まずオリブ園を見学した。ここには1908年日本最古のオリブ原木が植えられたとのことで、それを1917年に接木した二世の古木が現存していた。オリブ林等を見物後、売店でオリブオイル等を購入したが、よくラベルを見ると原産地はスペインとなっていた。

次に、名産の醤油を活用した佃煮店に行った。小豆島には約20の醤油会社がある由。醤油の歴史は400年前にさかのぼる。当時小豆島は良質の塩の産地であり、しかも温暖な気候風土が醤油づくりに適していたため一時は400もの醤油蔵があったとのこと。翌日ホテルの朝食で10種類もの醤油が用意されていたのには驚いた。

小豆島は作家壺井 栄の故郷で、「二十四の瞳」のロケ地となり二度映画化された。撮影現場の一つである岬の分教場「田浦分校跡」を見学後、ロープウェイで日本三大渓谷美(ここと耶馬溪および妙義山)と言われる景観を約15分楽しみながら寒霞溪(かんかけい)に登った。ここには『1億円のトイレ』と銘打った特に変哲もない便所があるが、その中で記念写真を撮る輩もいた。

宿泊はフェリーターミナルの真ん前の小豆島温泉オーキッドホテル。ここの温泉は無色透明だが舐めるとしょっぱかった。夕食は他の団体客とは別の部屋で、名産の鯛を使った鯛づくし膳。参加者には酒豪も多く、ビール、焼酎だけでなく日本酒も40本弱と盛大な宴会であった。酒の代金は無論割安なツアー代には含まれていないが、名幹事である部会長の合理的な判断で、飲酒量に応じてA、B、Cとグループ分けして翌朝料金徴収された。ただし小生等4名はスーパーAとランク付けされて割増し徴収されてしまった。

翌朝、またフェリーで土庄港から新岡山港まで約

70分の瀬戸内海の静かな遊覧。新岡山港から因島に山陽自動車道経由約2時間で着く予定で車を走らせたが、途中でガイドさんから『しまなみ海道の事故で交通止めとなっており、場合によっては松山まで行けないかも知れない』とのアナウンスがあった。

どうなることかと一同心配したが、幸いしまなみ海道(正式名称は西瀬戸自動車道)最初の橋である新尾道大橋に差し掛かるころ、事故の影響が解消されつつあるとアナウンスがあった。因島水軍城に行くため因島大橋を渡り一般道に出ると、反対車線は通行止めの影響がまだ残っており長蛇の車列であった。因島水軍城は高台にあり炎天下で多くの石段を登るのはかなりきつかった。

水軍城を見学後、生口橋、多々羅大橋を渡り広島県から愛媛県の大三島に移動し、大山祇(おおやまづみ)神社に参拝した。ここは全国に数多くある大山祇神社の総本社で、多くの国宝とともに樹齢約2600年の楠がパワースポットとされている。次に、この島にある伯方の塩工場で製造工程を見学した。小学校で習った瀬戸内の塩田を想像していたが、輸入した原塩を瀬戸内海の海水に溶かし、それを煮詰めて竹製の台の上で乾燥するとのことであった。

大三島橋、伯方・大島大橋を渡り大島の亀老山展望台でしまなみ海道最後の橋の来島海峡大橋を一望。ここは新国立競技場をデザインした隈 研吾氏の設計で、外部からはほとんど見えず周囲の景観にダメージを与えないよう配慮された由。(下線したのはしまなみ海道全ての橋の名称)

四国本島に入り、しまなみ海道終点の今治ICの手前では、今話題の獣医学部新設大学の建設現場を車窓に見ることができた。今回のガイドさんは非常に機転の利く名ガイドで、今回の旅行を盛り上げた功労者だと参加者の多くが認めていたが、この大学への期待を熱く語った時には少々複雑な気持ちになった。松山空港から予定通り夜8時半に羽田空港に着き、解散した。井村部会長はじめ参加された皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。



目黒わが町自慢

目黒本町 安藤 孝（昭和46年 商）

『目黒本町』は、1966年に当時の月光町・東町・向原町の全域と清水町・碑文谷の一部により成立しました、1丁目から6丁目からなる人口約2.4万人・面積0.92km²の町です。

毎年秋の碑文谷八幡例大祭では、旧町名にて神輿・山車が奉納されております。

「清水池公園」(写真)は水田灌漑用の溜池で“池の上の池”とも呼ばれ、立会川（現在暗渠）の水源の一つでありましたが、現在はフナが放流されており、区民の魚釣り場として賑わっております。公園内には弁財天を祀った祠があります。



「中央体育館」は4階建てのスポーツ施設で1Fにバスケ・バレー等の競技場、2Fトレーニング室、3F柔道場、4Fには剣道場・弓道場があり、老若男女がスポーツを楽しんでおります。オリンピックでは練習会場になるかもとの噂も出ておりますが。

「平和通り商店街」は先の戦争で焼け跡からの復興に力を注いだ商店主達が、平和への願いを込めて命名されました。この通りは 昔は目黒不動から法華寺（現・円融寺）碑文谷八幡を結ぶ往還で、庚申塚や鬼子母神堂が残っております。都道26号線と交差するこの商店街ですが、以前“庶民の台所”と言われた頃の活気は今ではありません。

「博水社」♪♪割るならハイサワー♪♪のCMでおなじみの、焼酎割専用炭酸飲料「ハイサワー」の本社があります。地元の飲み屋には必ずと言っていい程置いてあり、飲んべえ共がレモンサワーやチュウハイをオーダーして、毎晩のように酔っぱらっています。以前にはTV“タモリ倶楽部”で紹介されました。

そして 昭和の大衆文化の歴史を語るに「月光館」の存在は欠かせないでしょう。現在は跡形もないが かつてはこの地に有名なストリップ劇場（演劇・映画館の時代も）がありました。

この町内に住む会員は、現在13名です。

駒場 佐久間 喬（昭和44年 商）

『駒場』は武蔵野一帯にある馬にちなんだ古い地名の一つで、江戸時代に編纂された絵入り地誌「江戸名所図会」にも駒場野として記載があります。享保期以後は幕府の御鷹場となり「鳥見役所」が置かれた。「権兵衛が種まきカラスがほじくる・・・」という俗謡は同役所の餌付御用を務める雉捕りの名人川井権兵衛（本会会員川井信義氏の祖先）をうたったものともいわれています。

幕末には幕府の軍事教練が行われ、明治時代には騎兵連隊などの兵営地区としても栄えました。

昭和7年の目黒区誕生を機に目黒区駒場町となり住居表示化により駒場1丁目から4丁目となりました。現在の駒場は教育と文化施設、大きな公園がある地域となっています。

「教育施設」・東京大学駒場地区キャンパス、大学入試センター

「文化施設」・東京大学駒場博物館（美術・自然科学）、日本近代文学館、日本民芸館、旧前田侯爵邸
「公園」

・区立駒場野公園（面積39,025.29㎡、教育大学農学部跡地）園内には31種の樹木や22種の桜など豊かな自然があり、そこに住む多くの生物を紹介する自然観察舎は、ホテルを復活させようとしている会等様々なボランティア活動の拠点になっています。南側には駒場体育館、テニスコートなどがあります。駒場農学校に明治14年ドイツ人ケルネル氏が教師として着任し、水田土壌や稲作肥料の研究を行い大きな成果を挙げました。園内にある「ケルネル田圃」（写真）と呼ばれる水田はこの実験を行った場所です。目黒区内唯一の水田であり、筑波大付属中高生徒が田植えから刈取りまで行っています。

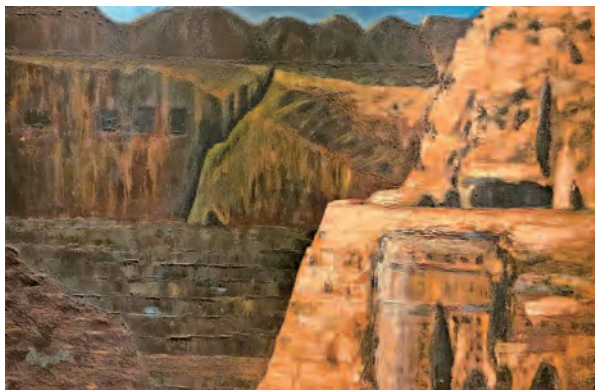


・区立駒場公園（面積40,396.47㎡、加賀百万石の当主だった前田家の前田利為侯爵邸跡地）

園内の侯爵邸（和館、洋館）は昭和初期の和洋両建築の粋を集めたもので、自然の巨木を生かし、名石をあしらった幽邃な奥庭や芝生の広場が設けられています。和館の北側には日本近代文学館が設置されています。

会員ギャラリー

「砂漠のペトラ」 F60号 油彩
丸山忠生（昭和44年 法）



1993年（平成5年）イスラエル ラビン首相によるPLOとの歴史的和平合意が締結された頃、イスラエルに度々出張し、たまたま、和平により、陸路ヨルダン川を渡り死海を経て、ヨルダンの首都アンマンに行く機会に恵まれたのです。（現在は絶対不可能）滞在中、車をチャーターして古代の砂漠の都市「ペトラ」に行き、スケッチし帰国後油絵にしたものです。因みに「ペトラ」はハリソン・フォードの「インディアナ・ジョーンズ」の舞台にもなりました。

新入会員



山本達人（昭和40年 法）
（杉並区堀ノ内在住）

高校・大学を通しアメリカンフットボールを楽しみました。川井信義さんの後輩です。俳句部会に参加しております。宜しくお願い致します。現在、稲門体育会の常任委員をしております。

——アメフット観戦、筍掘りに参加して——
川崎真樹子（昭和50年 法）

昨年3月11日に目黒区さんま祭りのご縁だけで、東京の事務所を閉めて、单身、気仙沼に事務所を移転しました。しかし、目黒には、高齢の母、夫、息子がおりますので、この1年、毎週のように気仙沼、東京を行き来しております。4月27日から5月8日のゴールデンウィーク中東京滞在の予定をしており、休日をごどのように過ごそうかと思っていたところに、4月29日アメフット観戦、5月3日筍掘りのご案内を頂き参加させていただきました。

1. 4月29日（土・祝）アメフット観戦

アメフットは、肉弾戦で陣地を取ること、チアガールというだけの知識しかありませんでしたが、一度見てみたいと思っておりました。駒沢公園に行く

ことが久しぶりでしたので、入口までかなりの遠回りしてしまい、到着した時には、先輩方が観覧席に陣取られておりました。早稲田、慶応の選手がそれぞれアップしていましたが、慶応の選手、応援団が早稲田より圧倒的に多く、配布されたパンフレットが豪華で・・・試合開始してから、慶応に攻め込まれ、折角攻めて込んでもペナルティー15ヤード（慶応のペナルティーは5ヤードなのに）を取られて、なのに、なぜか、早稲田が前半1点差で勝ち、後半は、早稲田は相変わらずペナルティー15ヤードを連発しながらも、終盤の馬力で、勝利の校歌でした。

私は、いつものとおり、缶ビール、ウィスキー、氷、炭酸水、紙コップ、つまみを持参しておりました。先輩方を見るとお茶・・・スポーツ観戦部会は観戦中はアルコール禁止ルールかと思い、「いかがですか」とも言わずに、同行した大学の同級生（板橋稲門会）と二人で、ビール、ハイボールを頂きながら、観戦致しました。恒例の反省会「やるき茶屋」で、「そんなルールはない」「ウィスキーの匂いがたまらなかった」・・・次回は必ずお勧めいたします。

2. 5月3日（水・祝）筍掘り

日焼け止めをたっぷり塗って、帽子、軍手、新聞紙、手提げ袋を準備して、相模大野駅改札口に行きました。そこからバスで・・・福田様の御邸宅に辿りつきました。

福田様の指示のもとに堀りを始めたものの、筍は頭が飛び出しているものは「ダメ」という先入観があるので、福田様から大きいのと言われても小さ目狙いをして何度か怒られ、そして、鍬に振り回されながらも皆で1時間で150本の筍は壮観でした。

福田様の座敷で、小宴会となり、筍の煮物がとても美味しく、持ち帰りが楽しみでした。帰宅して、大鍋に糠を入れて、筍を湯がき・・・翌日、筍ごはん、若竹煮、筍のお吸い物と筍づくしの幸せな食卓となりました。

参加させて頂き、楽しい時間をありがとうございました。

